



平成29年5月12日

養父市議會議長 様

議員氏名 田路 之雄

政務活動概要報告書

(政務活動の概要を下記のとおり報告いたします。

記

1 活動月日 平成29年4月18日(火)

2 活動場所 舞鶴市字北吸1039番地の2
舞鶴赤れんがパーク 舞鶴市政記念館／赤れんが2号館

3 活動者氏名 田路 之雄

(4 活動内容 地方議会研修会 in 海の京都 舞鶴市
「地方創生時代の政策と議会のあり方を学ぶ」
(1) 基調講演「地域から日本を変える」

北川正恭・早稲田大学名誉教授

(2) グランプリ受賞特別講演「地方創生と地域医療改革の実践」
多々見良三・舞鶴市長

(3) 議会先進事例報告

大津市議会、福知山市議会、京丹後市議会、亀岡市議会
舞鶴市議会



議長	局長	次長	主幹	主査

別記様式

平成29年5月12日

養父市議会議長 様

養父市議会議員 田路 之雄



研修成果報告書

養父市議会議員研修要項第7条の規定により、下記のとおり成果を報告します。

(記

- 1 研修日時 平成29年4月18日（火）13時00分～17時10分
- 2 研修先 舞鶴市字北吸1039番地の2
舞鶴赤れんがパーク 舞鶴市政記念館／赤れんが2号棟
- 3 研修目的 地方創生時代において、地方議会が政策や議会のあり方を学び、さらに研鑽する。この度「マニフェスト大賞」で2016年グランプリを受賞した舞鶴市長 多々見良三氏より「地方創生と地域医療改革の実践」の演題での講演及び議会先進事例報告を聴きこれからの議会のあり方を学ぶ。
- 4 成果(一) 舞鶴市長の「グランプリ受賞特別講演」に先立ち、北川正恭早稲田大学名誉教授の「地域から日本を変える」基調講演を拝聴した。
内容①断固たる志がないと改革は出来ない。改革出来るのは首長ではなく議会である。条例、規則が間違っていれば変えれば良い。地方議会は、政治課題がはっきり見えている。問題は何か？行政の諸悪は何か？地方を変える先兵になって欲しい。
内容②議員活動も大事であるが議員の総体である議会活動を活発にやってほしい。当局（執行部）は例えば学童保育の説明会、圃場整備説明会等々やっている。議会はわずかしかやっていない。議会不



要論になる。

(二) 「地方創生と地域医療改革の実践」

～選択と集中、分担と連携をコンセプトとした自治体経営～
舞鶴市長 多々見 良三氏

内容：常勤内科医の集団退職に端を発した地域医療の拠点の舞鶴市民病院が消える事に危機感を抱き、長年にわたり地域医療に携わった経験をもとに、地域にふさわしい新たな地域医療体制を構築するため、平成23年2月舞鶴市長選挙に立候補を決意し、公的4病院が連携して地域医療を確保する新しい形の「地域医療の再生」を訴え、当選し長きにわたり混乱してきた舞鶴市の医療問題を解決した。

また、市長就任当初から、いまだかつて経験したことのない「人口減少」という課題に取り組むためには、地域が有する魅力、資源等のポテンシャルを高める基礎固めと、「選択と集中、分担と連携」により、京都府北部5市2町があたかも一つの30万人都市圏として、機能し、発展することが必要不可欠であるとの考えのもと、広域連携の充実・強化に取り組む。

また、まちづくりの方向性と目標の明確化を図ると共に「財源」「施設」「人材」に関する行財政改革を推進する。

舞鶴市の地方創生の取組

- (1) 舞鶴市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年5月策定）
- (2) 「交流人口300万人・経済人口10万人」都市・舞鶴の実現（地域が目指す明確な目標の提示）
- (3) ◇心豊かに暮らせるまちづくり
◇安心のまちづくり
◇活力あるまちづくり

さらに、○ユネスコ世界記憶遺産登録・引揚祈念館のさらなる充実強化、○近代化遺産・旧軍港四市の連携を活かした新たな仕掛け。

結び：地方創生の推進において重要なこと

- ・地域の強みを理解し、活かすこと
- ・自分たちのまちに誇りを持つこと

(三) 議会先進事例報告

- (1) 大津市議会局 「未来を語る議会」であるために
～ミッションロードマップと大津市議会の取り組み～
- (2) 福知山市議会「出張委員会、高校生フレッシュ議会」等
- (3) 京丹後市議会「政務活動費の後払い制と詳細な公開」等
- (4) 亀岡市議会「子どもたちの声を市政に届けた子ども議会」等
- (5) 舞鶴市議会「第19期舞鶴市議会活動基本計画」等